

1 体育・健康に関する実態把握

【体育】

昨年度の体力テストの結果は、全体的によい結果であった。特に、投げる力を測るソフトボール投げは、市の平均値や一昨年度の記録と比較しても大きく上回っていた。これは、体育の授業でのボール運動の経験から、休み時間にドッジボールや的当てを好んで取り組む児童が増え、投能力や巧緻性の運動経験が増加したためだと考えられる。しかし、敏捷性を測る反復横跳びについては市の平均値や一昨年度の記録と比べて下回っており、本校の課題が見られた。

【健康】

本校は、規則正しい生活を送っている児童が多く、体調不良による欠席者や保健室利用者が少ない。今後も健康な生活を続けられるようにご家庭の協力を仰ぎつつ支援していきたい。

2 体育・健康に関する具体的取組

〈体力向上への具体的取組〉

- 体育学習における体づくり運動
(敏捷性の向上を目指す運動を含む巧みな動きを高める運動や動きを持続させる運動)
- なわとび朝会(長縄) 月1回
- 児童運動委員会による取組(短縄スクールやマラソン週間の計画、実施 等)

★期待される効果

- 調整力・巧緻性・持久力・瞬発力等の向上
- 縄跳び技能の向上
- 継続的に取り組むことにより、自己の運動能力向上を実感することができる

〈健康に関する取組〉

平成29年度より鴨志田中学校ブロック(鴨志田中学校、鴨志田緑小、鴨志田第一小)の3校では、「基本的生活習慣の確立を目指して」をテーマに、各学校の健康課題に取り組んでいる。

今年度、本校では引き続き「S(姿勢)H(歯みがき)T(手洗い)、3つのきれいで元気アップ!」を合言葉に、基本的生活習慣の定着を目指す。学校と家庭とで連携を図り、姿勢・歯みがき・手洗いを中心に年間を通して取り組む。また、学校保健委員会では、睡眠をテーマにし、一層健康への意識を高めていく。